

安全・福祉をテーマとした子どもまち探検企画による 地域の安全性向上への取り組み

Improvements in Local Safety through Children's Town Expedition Project aiming to foster Safety and Welfare

○岡西 靖¹, 稲垣 景子¹, 藤岡泰寛², 三輪律江², 佐土原聡¹
Yasushi OKANISHI, Keiko INAGAKI, Yasuhiro FUJIOKA, Norie MIWA²
and Sasoru SADOHARA¹

¹ 横浜国立大学大学院 環境情報研究院

Graduate School of Environment and Information Sciences, Yokohama National University

² 横浜国立大学大学院 工学研究院

Graduate School of Engineering, Yokohama National University

It makes a report about the improvements in local safety through children's town expedition project aiming to foster safety and welfare in Wada-machi, Hodogaya Ward, Yokohama City. The neighborhood association of Wada-machi area aimed to select evacuation spots immediately after disaster and to make the list of people with special needs in emergency. In this workshop, children will experience evacuation to evacuation spots immediately after disaster with people with special needs in emergency. It is planned that the results of this workshop are presented for local events. The interlocking with local actions and the workshop can expect synergy for local safety. New development for the local safety improvement is expected by an action.

Keywords : *Workshop, Evacuation Support, evacuation spots immediately after disaster, people with special needs in emergency*

1. はじめに

地域の安全性を向上させるには、地域自身による地道な取り組みを欠かすことはできない。地域の取り組みの課題として、その継続の困難さが挙げられる。機運の盛り上がりによって活動を開始しても、世代交代や地域内の合意形成など活動継続において壁にぶつかり、その後の展開が困難になることが少なくない。

2001年度の和田町商店街、区と大学との共同研究を契機に、横浜市保土ヶ谷区和田町では大学と協働したまちづくりに取り組み、その後「和田町タウンマネジメント協議会」を設立し、まちづくりや商店街の活性化などを進めており、その中の一つとして、子どもまち探検企画を実施している。

本報では、昨年度に引き続き、安全・福祉をテーマとした子どもまち探検企画の取り組みを通じた、地域の安全性向上への取り組みについて報告する。

2. 「子どもまち探検」企画について

本企画は現在、「和田町タウンマネジメント協議会」内の「地域と子どもプロジェクト」として位置づけられ、地域の町内会である和田西部町内会と大学が中心となって企画・実施している。「子どもまち探検」は平成15年度から開始され、「子ども」をキーマンとして地域の繋がりを広げ商店街と地域の活性化を促すことをその主目的としている。探検のテーマを歴史、環境、安全、福祉と4年でひとつのサイクルとして設定しており¹⁾、今年度で8年目となる。昨年度と今年度は、安全と福祉とい

う別々のテーマで進められる予定を、一つのテーマに合体させ、2年間かけて連続した企画として実施するように計画した²⁾。

3. 和田西部町内会の防災対策の実施状況

昨年度の子どもまち探検企画以降、和田西部町内会では、地域の防災対策に取り組み、いっとき避難場所の選定及び災害時要援護者名簿の作成を進めた。ここではその状況について簡単にまとめる。

(1) いっとき避難場所の選定

昨年度の子どもまち探検企画内では、地域内の小広場等を仮のいっとき避難場所と設定して進めた。その後、和田町西部町内会は一部斜面地であることなどから、立体地図などを利用して、地域内で偏在かつ斜面上の高低差を考慮したいっとき避難場所の選定を進め、9か所を指定し(図1)、町内にも回覧した。この選定作業は、大学との協働研究の一環としても進められた³⁾。

(2) 災害時要援護者名簿の作成

今年度の6月から7月にかけて、災害時要援護者名簿作成のための全世帯向けの意向調査を実施した。その結果、災害時要援護者台帳を作成した。その意向調査の項目の一つとして、地域の防災訓練において要援護者支援の訓練に参加していただけるかという意向も聴取しており、今回の子どもまち探検でもその項目に参加の同意をいただいている方の中から依頼している(3名の参加が決定)。今後は支援する体制の整備を検討している。

4. 今年度の子どもまち探検企画

今年度は、昨年度からの継続企画として安全・福祉をテーマとした「安全・福祉探検隊になってまちパトロール2！」と題して実施する。災害時に災害時要援護者が、自宅からいっとき避難場所まで無事に避難できるかを考えるため、高齢者や障がい者の方々と一緒に車いすや簡易担架等の使用しながら、一緒にまちを歩きながら避難路を点検し、安全・福祉マップを作成、発表する予定である。参加者および協力者は、小学生、中学生、町内会関係者、消防団員、大学教員・学生等あわせて約30数名を予定している（企画実施日は2010年10月17日）。

具体的な企画内容は、約80分程度のまち歩きの中で以下の点検活動やイベントを実施する。

- ①正式に選定されたいっとき避難場所（8箇所）や災害用備蓄倉庫（2箇所）の点検、消防団詰め所への訪問など地域の防災施設を確認・点検する。
- ②防災訓練への参加意向のある災害時要援護者3名の方と地域内の立地している障がい者の地域作業所の御協力を得て、子どもたちがお宅や施設を訪問し、災害への不安や地域への援護の期待などについてインタビューする。
- ③前述②で訪問した方々と一緒に、指定されたいっとき避難場所まで車いすなどを使用して実際に避難体験をする。
- ④いっとき避難場所の住民への周知と子どもまち探検の実施記念も兼ねて、太陽光で蓄電するガーデンライトを利用したいっとき避難場所のお知らせオブジェを設置する。
- ⑤まち歩きの途中では、AEDや街灯消火器などの防災などに役立つアイテムを点検する。

以上の点検結果等をマップにまとめ、町内会のアートイベントや商店街のイベント、地域作業所のバザーなどにおいて地域に発表し、情報発信する予定である。

5. まとめと今後について

この子どもまち探検企画は「子ども」をキーマンとして地域の繋がりを広げ商店街と地域の活性化を促すことが主目的であるが、子どもたちも新たにまちを見直し、よりよい地域づくりの一方向性として「安全なまち」や「人にやさしいまち」を目指してくれることが望まれる。

また、この企画の準備段階での地域住民との会合により、地域と大学の連携が深まり、年度を経るごとに企画の実施は、準備段階における地域との調整を含めて順調に進められている。このことがいっとき避難場所の選定を大学が協力する際にもスムーズに進める土台となっていると思われる。

今後の課題として、子どもまち探検企画は、子どもの自発的な参加意思に基づいて募集しているが、その理念を大事にしつつ、参加者をより多く確保していくことが必要であろう。また、子どもからの地域課題の発信によるまちづくりへの展開もさらに模索する必要があると考える。

謝辞

本研究およびイベントを進めるにあたり、和田西部町内会、和田町商店街協同組合、地域作業所ダンボ他、地域住民の方々に対して深く感謝いたします。

参考文献

- 1) 岡西靖, 藤岡泰寛, 三輪律江, 稲垣景子, 高見沢実, 佐土原聡: 安全・安心をテーマにした子どもまち探検企画を通じた地域の防災意識向上への取り組み, 住宅総合研究財団「住まい・まち学習」実践報告・論文集, 8, pp.65-68, 2007.
- 2) 稲垣景子, 岡西靖, 藤岡泰寛, 三輪律江, 佐土原聡: 安全・福祉をテーマにした子どもまち探検企画を通じた地域防災力向上への取り組み, 地域安全学会梗概集, No.25, pp.99-100, 2009
- 3) 岡西靖, 佐土原聡: 斜面市街地を対象とした安全・安心まちづくり推進のための地図利用のあり方, 地域安全学会梗概集, No.26, pp.31-32, 2010.

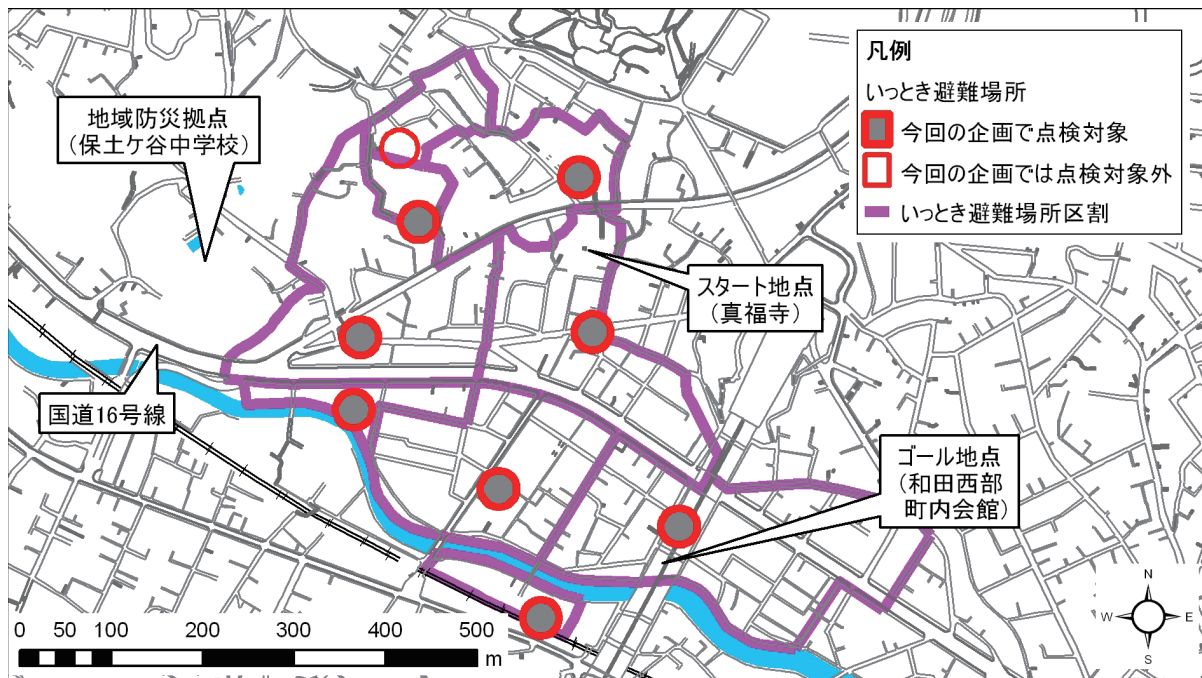


図1 ワークショップ対象エリア